

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ふるさとの森ひろば2			
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名 (利用児数35名)	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日		～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○ 自分なりの意思表示方法を身に付け、自己決定の意識を持つことができる。	○ 利用児の意思表示について職員が気持ちを受け入れることで、利用児が自信を持って気持ちを伝えることができる関係作りに努めている。 ○ 様々な場面で自己決定ができるように複数の選択肢を準備し、本人の思いを汲み取っている。	○ 充実した選択肢の準備、選択肢がなくても意思表示を行うための計画的な支援方法を検討と実行 ○ 事業所で過ごす中で意思表示が行えるようになった場合、事業所以外の場所でも同じように意思表示が行えるようになるための支援方法の検討
2	○ 自己肯定感を高め、自分に自信を持つことができる。	○ 職員が常に「誉める」という意識を持って支援にあたり、利用児が何ごとにも前向きに取り組めるようにしている。 ○ 必要に応じて支援員がモデリングを行なうことで様々な場面での好ましい行動についてイメージできるようにしている。	○ 成功体験を繰り返し、自己肯定感をさらに高めていけるようにしていく。 ○ 今後も職員が意識的に「誉める」支援を心がけ、利用児の自己肯定感を高めていく。
3	○ 異年齢集団での生活やレクリエーション・園外活動などの体験活動を通して社会性を育てる	○ レクリエーションなどの活動を通して体を動かす楽しさを感じながら、ルールや順番を守る意識を高め、仲間を思いやる気持ちが高められるようにする。 ○ 園外活動等を通して初めてのことにも興味を持つ気持ちを持ち、公共の場での適切な過ごし方を学ぶ。	○ 意欲的に取り組める活動内容を検討し、一つずつ「できた」という成功体験を積み重ねていき、自己肯定感を高めていく。 ○ まだ経験していない園外活動先を探し、様々な経験ができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○ 施設・設備の整備が不十分である。	○ 施設の老朽化とバリアフリー不対応を改善するための工事を計画したものの、実施できていない。	○ 施設改修計画の内容を再検討し、予算内で可能な範囲の工事を再度、計画し実施する。(R7年度 カーポート設置、床の修理を実施済み)
2	○ 保護者同士が交流する機会の提供が少ない。	○ 法人行事への参加案内は行い、参加していただいているが、事業所単独での保護者会の開催ができていなかった。	○ 事業所単独で保護者懇談会や親子レクリエーションなど保護者参加の行事を企画し、保護同士が触れ合える機会を作る。
3	○ 地域とのかかわり、児童クラブ等との交流が少ない	○ 地域の社会資源利用(公園や工場見学など)は実施してきたものの、他放課後等サービス事業所との交流や地域の同年代の子供と触れ合う機会が設定できていなかった。	○ 長期休暇や学校休業日などを利用して他放課後等サービス事業所との交流や地域の少年団等と交流する機会を設定していきたい。